

常任委員会の審査から

本会議で付託された主な議案等について、各常任委員会の審査状況を報告します。

総務企画防災常任委員会

大須賀委員長、杉田副委員長、末吉、栗原、小林(克)、渡辺、西田、平塚 各委員

議案第39号 平成30年度足利市一般会計補正予算(第1号)について

○議案の内容

歳入歳出ともに9千300万円を追加し、補正後の額を527億9千300万円にしようとするもので、畜産・酪農農家の収益力を強化するための施設整備に対する補助事業のほか、林道大岩月谷線ののり面崩落危険箇所整備事業費の変更及び地方債の補正を内容とするもの。

○主な質疑応答

問 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業については下野ブランド拡大協議会が事業の主体となるが、この取り組みによる効果を聞きたい。

答 本事業は、施設整備による飼養頭数及び販売額の増加を成果目標とし、地域の収益力向上を図るものである。下野牛の安定供給、出荷量増加による消費者の認知度とブランド力向上を図り、畜産・酪農の担い手育成にも取り組む。また、飼料となる稲わらの供給量増加や堆肥の増産など、地域資源の利活用にもつながる。

○審査結果 原案のとおり可決

民生環境水道常任委員会

金子委員長、須田副委員長、鶴貝、大谷、大島、柳、尾関、中山 各委員

議案第45号 工事委託契約について

○議案の内容

足利市公共下水道水処理センター改築工事の工事委託契約について、その予定価格が議会の議決に付さなければならぬ予定価格である1億5千万円以上となるため、議会の議決を求めるもの。

○主な質疑応答

問 水処理センターは昭和52年の供用開始から40年が経過しており、耐震化が図られていない施設も多くあると思うが、今後どのように施設の更新や、耐震化を図っていくのか。

答 本市では、平成23年度に下水道施設の長寿命化計画を策定し、計画的な事業を実施している中で、今後は事後保全型から、予防保全型といった形で、より効果的な維持改修に努めていきたいと思っている。また、下水道ストックマネジメント計画の策定により、国の補助金が確保できるようになったことから、足利市においても長寿命化計画の計画期間後に新たな計画を策定し、進めていきたいと考えている。

○審査結果 原案のとおり可決

教育経済建設常任委員会

富永委員長、小林(貴)副委員長、中島、横山、吉田、斎藤、荻原、黒川 各委員

議案第46号 足利市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正について

○議案の内容

新たな地区計画区域の決定による当該区域内の建築物の制限を規定するとともに、建築基準法の改正に伴う既存区域内の建築物の制限を見直すため条例を改正しようとするもの。

○主な質疑応答

問 都市計画法では用途地域が定められており、建築物の用途などが制限されているが、今回さらに地区計画を定める目的は何か。

答 都市計画法の用途地域は、比較的広い範囲について定めているのに対し、地区計画制度に基づく地区計画は、地域の特性や実情に応じたきめ細やかな規制、誘導を行うことができる制度である。今回の地区計画は、あがた駅南産業団地の目的を考慮し、立地企業を適切に誘導したり、あるいは市街化調整区域に既に立地していた工業団地の維持保全を図るために定めるものである。

○審査結果 原案のとおり可決